

リニア中央新幹線についての定点観測アンケート

リニア新幹線へ「期待している」は8割台に

当研究所が定期的実施している「リニア中央新幹線についての意識調査」アンケートの平成4年度調査を本年3月に実施した。その結果を報告する。

1. 「期待している」は今回さらに増加

今回は『飯伊地区産業経済動向』（以下『動向』）調査先および発送先（読者）を中心に、オンラインによる回答方式も併せて実施し、回答数は127となった。お忙しい中、毎回の調査にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

「Qリニア中央新幹線に期待していますか」は87.6%と平成25年度からの調査で最高となった。

これについて回答者の属性を考慮すると、当研究所のアンケート調査は『動向』調査先・配布先（読者）を基本としながら、広く一般のお取引様にもお願いしている。これを、グラフ2「回答者の職業」を調査年度毎でみると、今回と令和2年度の調査は主に『動向』調査先・発送先を対象、令和3年度および元年度調査は、これに加え多数の一般の方にもお聞きしているため、「会社役員」等の比率が変動している。

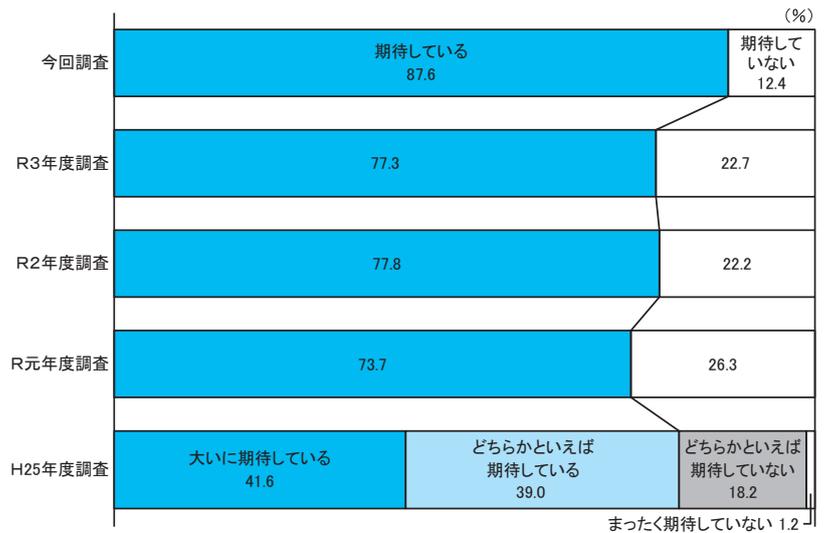
当相談所のアンケート調査は、企業の経営者層等が中心で産業界・経済界の意識が反映されがちと考えているが、それを踏まえても、「期待する」がこれまでになく増加しているのは地域での期待感が広まっている結果と言えないだろうか。その要因としては、天竜川橋梁や駅周辺整備、関連道路など、工事の進展が当地域内各地で目に見えてきたため、というのが考えられる。

2. 「リニアに不安を感じる」は増加となるが…

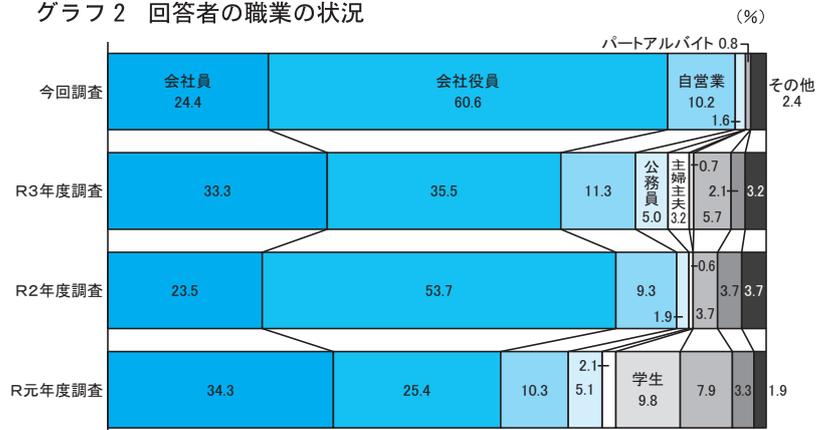
次に「Qリニア中央新幹線に不安を感じますか」で「不安を感じる」は、前回調査を上回り43.4%（次頁グラフ3）となった。最初の調査（平成25年）から令和2年度調査まで徐々に下がって33.1%を底にその後漸増傾向にあり、今回調査でも前回調査を上回った。

「不安を感じる」について、今回調査では理由を選択肢から選んで（複数回答）いただいているが、「リニアの開通がいつになるかが分からないから」は、「不安を感じている」理由の総数86のうち28と最も多く32.6%を占めた。

グラフ1 リニア中央新幹線に期待しますか



グラフ2 回答者の職業の状況



「リニアの開通がいつになるかが分からないから」について、これまでの調査結果をグラフ4および5に示す。

リニア新幹線に「不安を感じる」回答者のうち「リニアの開通がいつになるかが分からないから」を挙げている比率は、前回の令和3年度調査で増加したが、今回調査は同調査を大幅に上回り、回答者の半数がそれを感じている、という結果になった(グラフ4)。「前向きな不安」とも言えるかも知れない。

「不安を感じる理由」は複数回答のため、「不安を感じる理由」の挙げられた総数における「リニアの開通がいつになるかが分からないから」の割合をみると、今回は理由総数のうち32.6%となっている(グラフ5)。

3. コロナ禍を経ての思いはかなりの変化

コロナが始まってから毎回の調査でお聞きしている「Q コロナ禍を経て、リニアに対する思いが変わりましたか」の回答結果には今回変化がみられた。

「リニアの必要性・重要性」が薄れた・増したは、これまでどちらも10%程度のほぼ同率で推移していたのが、今回調査では「必要性・重要性が増した」が「必要性・重要性が薄れた」に対し約3倍の大幅増となった(グラフ6)。

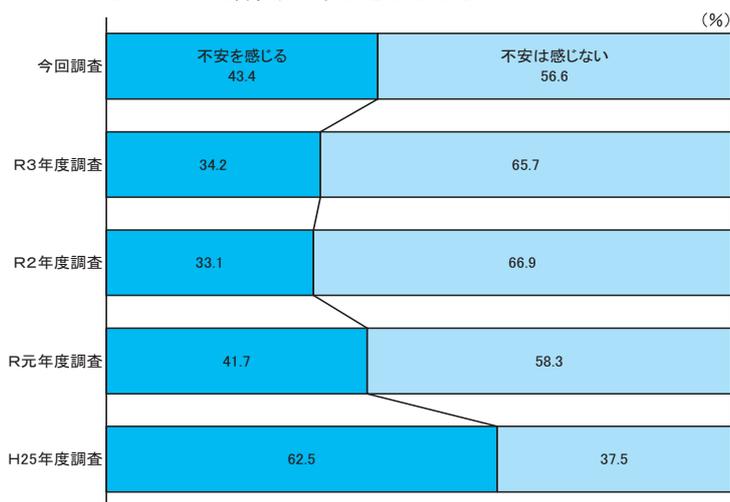
「必要性・重要性が増した」とする回答者のうち、「都市部への集中が見直され、短時間で移動できる地方への注目が高まる」を挙げているのは86.7%、「オンライン会議やリモートワークの普及により、Uターンや、都会からの移住が増える」は56.7%となっている(複数回答)。

4. おわりに

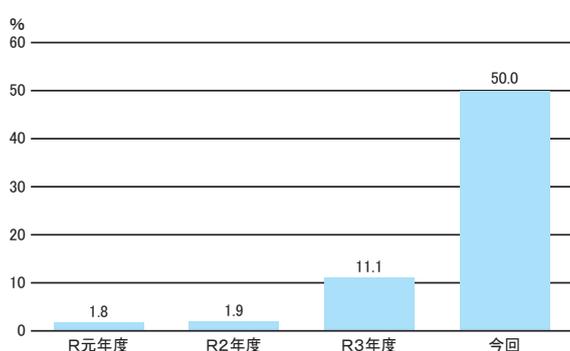
平成25年度から、当相談所では『動向』調査先・配布先様を中心に、定点観測的にアンケートによる意識調査を行ってきた。

その中で今回調査では、皆さまの意識に、潮目を迎える、かなり大きな変化がみられた、と感じているが、引き続き意識調査を行い、今後の推移をみていくこととしたい。

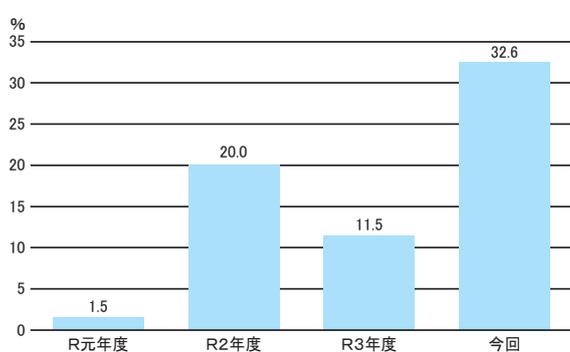
グラフ3 リニア新幹線に不安を感じますか



グラフ4 「不安を感じる」回答者のうち「開業時期」を挙げる割合



グラフ5 「不安を感じる」理由のうち「開業時期」の割合



グラフ6 コロナ禍を経て、リニアに対する思いは変わりましたか

